

# 平成25年度おすすめ 人権教育・啓発用ビデオの紹介

そら

## ほんとの空 (36分)

企画：兵庫県

高齢者や外国人に対する排除、不利益な扱い、同和問題や原発事故に伴う風評被害の問題、これらの多くの人権課題に共通する根っこの部分は、私たちの誤った考え方や思い込み、偏見です。そのことに気づき、人と深く向き合うこと、他者の気持ちをわがごとくとして思うこと等、日常の行動を見直すことにつながります。



ほうき

## モップと箒 (30分)

障がい者雇用の場は広がりつつありますが、働きたいのに働けない障がい者は、まだ数多く存在します。“エル・チャレンジ”(大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合)に関わった知的障がい者と支援者の姿を密着取材したドキュメンタリー作品です。



じょうず あ

## ネットと上手につき合おう! (23分)

インターネットに詳しい嬸家の柳家三之助さんの軽妙な語り口とケータイ世代の中学生とのやり取りを通じ、ネットのトラブルを防ぎ、そして、インターネットを有効に活用していくためのヒントを提供します。ドラマや図表でわかりやすく解説しています。



なか じんけん もんだい

## くらしの中の人権問題

- ・地域編 障害のある人・外国人・ホームレス
- ・会社編 セクシャルハラスメント・パワーハラスメント
- ・家庭編 子どもの人権・女性差別・DV・高齢者問題 (各20分)

身近な日常生活における人権侵害のシーンがドキュメンタリー形式で映し出されます。人権侵害はどのように起きるのか。またそれを防ぐために何が大切かを考えてみませんか。

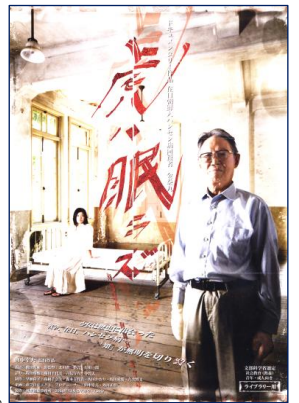


とら ねむ

## 虎は眠らず (30分)

金泰九(キム・テグ)さん 85歳は70年以上も昔に日本に渡って来た在日韓国朝鮮人で、ハンセン病回復者。60年もの間、岡山県にあるハンセン病国立療養所“長島愛生園”で暮らし続けています。

18歳の少女のインタビューに、金泰九さんが穏やかな口調で答えるとともにハンセン病の歴史をふり返るドキュメンタリー作品です。



だっきやく

## いじめ脱却マニュアル (23分)

子どもたちのいじめ体験を再現ドラマとして挿入しながら、わかりやすく、いじめへの対応法を解説。子どもの心情を汲み取りつつ、教師の立場、親の目線、カウンセリングの視点から総合的にいじめを捉え、現場ですぐに活用できる対策が紹介されています。

